

種高同窓会報

発行
種市高等学校
同窓会報

会報創刊にあたり心一つに

同窓会々長 佐々木 繁 男

入梅も後半に入りましてからは、毎日のようにうとうとうしい日が続いておりましたが、青空が広がったある日、学校を訪れてみましたら運動会の生徒達でしょうか、ジャージー姿の男女がコートに出て三三五五に動き回る姿には久しぶりに若さを感じて印象的でした。

学校も新築され今では以前の木造の校舎の面影など、どこにも見渡りません。校舎の周辺もすっかり整備されて、校舎の前は広い前庭になって木の葉も雨あがりの後だけに、緑もあざやかに回りの緑が新校舎を一層引立てて輝きを益して目に映ってまいります。

学校を訪れる者にとりましては環境の良さには、今ではすっかり感心するばかりです。

これが私達の母校の今の姿でございます。

皆様も機会をみつけて是非一度訪れて見て下さい。

お話が遅くなりましたが、先の総会におかれ会長の職をお受け致すことになりましたが、何分にも微力ではありますが生いっばい全力を尽して職をまっとうしたいと思っております。よろしくご協力の程お願い致します。

今度、学校側のご協力を頂きまして、本会の会報を発行することに致しました。

会員の皆様も学校を卒業されてから三、四年、ある方は十、二十年と長い方ですと三十、四十年と本当に大先輩の方々もいらっしゃるかと存じます。お互いにいつも学校の事は気にかけていることなのでしょうが、日頃は、つい仕事、仕事で、ある人は家事に、子育てに追われて学校のことなどすっかり忘れていた方々も、いらしたのではないのでしょうか。

会員でしたらどなたでも学校、本会の様子を少しでも知りたいと思うのが本当ではないでしょうか。会員の方々に学校の概況とか、生徒達の活躍の様子等を会報に載せて頂き、その記事を読む時にお互いに速く離れておりました自分の若き日の姿を想い出しながらその記事に目を通して頂ければこんなうれしいことはありません。

又、会員の皆様方の身近な出来ごと等も載せて参りまして、同年代は勿論のことでございますが、異年代との交流も盛んにして会員相互の親睦を深めて連帯意識を高めて頂ければと思っております。

この様に会報を通されまして心一つにしてまもなく迎えようとしております。

我が母校の五十周年………。

この記念すべき時にお互いに母校がこの地域での最高教育機関として、益々の発展することを願うと共に、私達会員も広く見聞することによって、お互いに心交し、自分の心を高めて頂きたいものです。

御挨拶

学校長 那須光吉

本校に赴任して、はや四か月たちました。種市高校は今年度で久慈高校種市分校時代から教えて創立四十三日目、分離独立からは二十年を経過致しました。

過去の資料をいろいろ調べておきますと、本校に寄せられている期待の大きさと責任の重大さをひしひしと感じます。

本校の教育活動は、職員一体となつての努力と、地域社会、同窓会、PTAの理解支援のもとに順調に営まれておりますが、課題もいろいろあります。

その一つに施設整備の整備があります。校舎は新築され、種市丸は新造船となりました。海洋開発科関係の施設設備は修理等なされてきておりますが、設備には老朽化した物もあり更新が必要となつてきております。

今年度、県当局のご理解で、単独のレスリング場を建設していただくことになりました。

しかし、練習場に不自由しているクラブが他にあり、そうしたクラブへ場を提供してやるのが課題となっております。

次に進路指導の問題があります。進学希望者や各種資格取得のために、先生方は個別指導を中心に手だてを講じておりますが、生徒の意識の高揚は不十分であります。保護者の理解協力ももう一歩であります。やる気を出させ、家庭のバックアップを得る必要があります。

その他まだございますが、同窓会のご支援をいただきながら本校の発展に努力してまいりたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

はや四ヶ月に想う

教頭 児玉光郎

この学校に着任して四ヶ月が過ぎようとしています。前任校が広田水産高校だったので県境最南端より一気に県境最北端に北上したことになります。こゝは普通科と海洋開発科が設置されているので、この研鑽努力を強く覚悟して着任しました。はや四ヶ月、生き生きとした表情の生徒が多く、そして先生方の労を惜しまないエネルギーの結果が、学習指導、生徒指導にみられています。校是「自愛・自立・自強」がまた素晴らしい。

私はクラス運営等では直接生徒に接することは出来ないが、側面より生徒に接し、別の見地よりこの種市高校が全ての面において、より一層充実するように、先生方と協力し、校長と共に活力ある学校づくりに努力していかうと考えています。

先日、同窓会の東京支部に校長代理で出席いたしました。会場の雰囲気

は活気あり気持よいものでした。卒業生とは誰一人面識ありませんが、多くの人から声をかけられたり、自己紹介されたり大変感動しました。みなさんがどんなに母校のことを思っているか、高校生活の三ヶ年がいかに貴重な青春の日々であったか、そしてその事がその後の人生をどんなに豊かにするものであるかを知らされました。

はや四ヶ月たちましたが、私は種市高校に赴任してよかったですと心から思っています。この学校は地域の学校であり同窓生の伝統ある学校であることを肝に銘じつつ日々まい進したいと思っております。

御挨拶

東京支部 大野保二

昭和三十五年卒業、大野保二です。今年も夏季休暇も真近になりましたが、海洋開発科の皆様方は、お元気でお越しの事と思われまます。

我が国は四面海を環らし、海に発展しなければなりません。これからの国土開発では人工島の造成が続々登場してくる見通しにありま

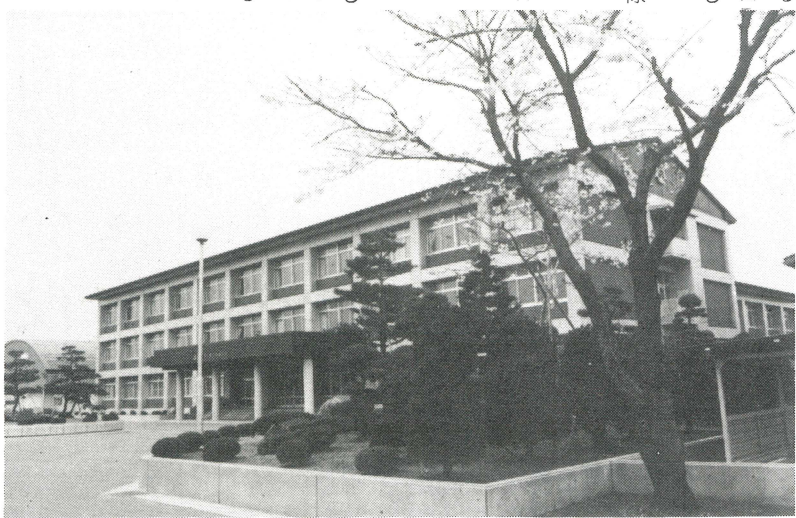
す。人工島や沖合防波堤などの港湾海洋工事の規模が大きくなり、大深度水域で行われるようになります。海の工事を施工するに当っては、水中における作業が不可欠であります。それには優秀な潜水技術が必要です。海の工事の施工上、重要な点であることは申し上げるまでもありません。

海中構造物が巨大化し、多様化するに従って、大水深での潜水作業が増加し、新たな工法の導入などが進むことが考えられ、潜水技術の高度化が要求されると思われまます。潜水士の仕事が常に危険と隣り合せでしかも高度な専門知識と熟練を要することに対しては、処遇の改善や地位の向上の面から必ずしも十分とはいえないものがあります。今、潜水業界の皆様が一致団結して、力ある職場作りを行っております。

卒業生として、潜水学校発祥の地として、日本の潜水業界に名をなして来た「南部もぐり」の育つて来た土地です。

海洋開発科の優れた先生方の指導のもと、学業とすばらしい技術を身に付けて種市高等学校を卒業し、すばらしい人生、生活の基礎をきずかれることをお祈りいたします。

終りに皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りしてご挨拶いたします。



学校概況

☆クラブ状況

野球部



・春季大会
久慈農林 2対0
久慈高 6対7×
夏の県大会
久慈高 13対0(六回コールド)
秋季大会
久慈水 10対3(七回コールド)
久慈商 2対20×

・個人 個人なし
・新人戦 団体 二位通過
個人 奥寺、権現堂組通過
・女子 庭球部
高総体 通過ならず
団体 通過ならず
個人 通過ならず
・県民 個人 田中、大芦
ベスト8(通過ならず)
・新人戦 個人 通過ならず
団体 四位通過

レスリング

・高総体
団体 二位
個人 46kg級 二位相野 三位権代
50kg級 二位西
54kg級 一位板橋
58kg級 二位館野
68kg級 二位 後 三位谷地中
74kg級 一位大久保 三位関川
74kg級以上 一位中山

陸上部



・高総体地区予選
一位通過 男子
荒巻(ハンマー)
女子
高田(幅)
佐々木(砲丸)(やり)
岩谷(円盤)
二位通過 男子
荒巻(円盤)
下畑(やり)
流踊(ハンマー)
女子
猪石(円盤)
里村(やり)
三位通過 男子
表沢(一〇〇m)(幅)
川口(一〇〇mH)
八尾(円盤)
女子
小山(一〇〇mH)
田子(円盤)
猪石、高田、佐々木、青田
(四〇〇mR)

男子 庭球部

・高総体
団体 通過
個人 斎藤、竹高
土畑、日向 通過

女子

・新人戦
男子 一位通過
荒巻(円盤、ハンマー)
塚野(走高)
女子
竹居(砲丸)
里村(やり)

男子 二位通過

高橋(三、〇〇〇MSC)
塚野(やり)

県大会 一回戦
種市 2対3 沼宮内
個人 宇館0対2
盛岡女子
(県民予選)
男子 粒米0対2専北
(一回戦)
日當0対2盛岡
(二回戦)
女子 宇館0対2
(水商一回戦)
道合0対2
(釜南一回戦)

バレーボール部

・男子 高総体(地区)
久慈 0対2
工業 0対2
軽米 2対0
農林 2対0
(県大会)
福岡 0対2

バトミントン

・高総体
伊保内に敗退
(県民 個人)
玉沢 一回戦
大同 一回戦

女子

高総体(地区)(リーグ)
久慈商0対2
軽米 0対2
農林 2対0
大野 2対1
(県大会)
黒北 0対2
(県民)
久慈農林 0対2

ソフトボール

・高総体予選

農林 6対7 負
大野 10対3 勝
農林 4対5 負
(県民)
農林 4対5 負
商業 4対14 負
大野 11対13 負
(新人戦)
農林 11対2 勝
商業 1対10×負
久慈 9対8 勝
農林 13対1 勝
(県大会出場決定)

卓球

・高総体
女子団体 三位通過



剣道

・高総体
(個人)
男子 小林 一回戦
女子 市川 一回戦
(県民)
男子 小林 一回戦
西前 一回戦
上沢 一回戦
野田 一回戦
大光 一回戦

女子 市川 一回戦
長根 一回戦
表沢 一回戦
高林 一回戦
山内 一回戦

サッカー部

高総体地区予選
一回戦

種市1 0対1 3工業
種市1 1対2 3工業
一回戦
種市1 0対3 3工業
種市1 1対0 3工業
敗者復活戦一回戦
種市4 1対0 1軽米
種市4 3対1 1久慈
敗者復活戦一回戦
種市4 2対1 2久慈
種市4 2対1 2久慈
第二代表決定戦
種市1 1対0 0大野
種市1 0対0 0大野
県大会一回戦
種市1 0対4 5平館
種市1 1対1 5平館

平成三年度

同窓会役員

同窓会役員 (平成三年四月～五年三月)

名誉顧問	藤田 孝則(歴代会長 普26)	藤田 昇(普30)
名誉会長	磯崎 武志(海28)	岡田 光也(海31)
同窓会長	那須 光吉(学校長)	坂本孝太郎(海33)
副会長	佐々木繁男(普31)	中村 誠(普47)
副会長	高柳 福蔵(普36)	榎谷 優(普48)
副会長	日當 博治(普43)	浜道 秀人(海56)
副会長	兄玉 光郎(教頭)	城内 強(海56)
監事	久保田藤男(普45)	佐々木治彦(普56)
監事	松橋 節子(普43)	
理事	若干名	
東京支部長	大野 保二(海35)	
副支部長	高橋 真(海46)	
副支部長	下学坪 実(普46)	

今後共、種高発展の為に御協力お願い申し上げます。

あとがき

同窓会費を生徒からいただいている以上は、毎年総会を開催し、金銭の使途をしっかりとしなければいけないのは言うまでもないことですが、毎年春先のいそがしい時期である為か、総会出席者が少なく感心も薄いような気がします。卒業すれば、確かにもう関係ももうすぐ義務もありませんが、学校は多方面から手助けしていただかなければいけない部分もあります。ぜひ後輩達のためにも、「肌脱いで「奉仕」していただきたいと思ひます。年号が平成になり始めて同窓会報を発行しますが、まだまだ内容が未熟です。充実をはかり、年に一度七月頃に発行し、学校とOB・OGのかけはしとしたいと思ひますので今後共、御協力の程よろしくお願ひ申し上げます。尚、原稿依頼が七月で発行が遅くなりましたので内容が季節的にそぐわない所もあることをおゆるし下さい。

事務局 榎谷記

3年海洋開発科 総合実習(フランチ接続)

